

子育て支援に関するアンケート調査結果概要

アンケートに基づき算出する事業項目

- 1 平日の定期的な教育・保育事業（時間外保育事業を含む）
 - ・ 1号認定 認定こども園及び幼稚園（標準教育時間認定）（3～5歳）
 - ・ 2号認定 幼稚園（3～5歳）
 - ・ 2号認定 認定こども園及び保育所（3～5歳）
 - ・ 3号認定 認定こども園及び保育所＋地域型保育（0歳、1・2歳）
- 2 地域子育て支援拠点事業（0～2歳）
- 3 病児保育事業（0～5歳、1～6年生）
- 4 一時預かり事業
 - ・ 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（3～5歳）
 - ・ その他（0～5歳）
- 5 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト）（0～18歳）
- 6 放課後児童健全育成事業（1～3年生、4～6年生）・子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）（0～5歳、1～3年生、4～6年生）

I 調査概要

1. 調査設計

(1) 調査対象者

平塚市在住の0歳～5歳までの子どもの保護者

(2) 標本数

就学前児童の保護者 2,500名

(3) 調査方法

郵送により対象者に送付、郵送回収にて調査を実施

(4) 抽出方法

住民記録台帳から無作為に抽出

(5) 調査票発送日

平成25年12月4日(水)

(6) 書面上提出締切日

平成25年12月19日(木) ※礼状兼督促を1回実施

2. 回収結果 (有効回収数)

就学前児童 1,378名 (回収率 55.1%)

3. 調査結果の表示方法

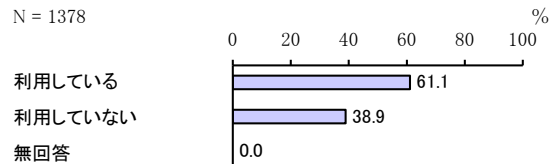
- 表に表示されている数値は、上段及び件数は回答数、下段及び割合は全体の回答数に対する割合となっています。
- 集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

II 調査結果

1 平日の定期的な教育・保育事業（時間外保育事業を含む）

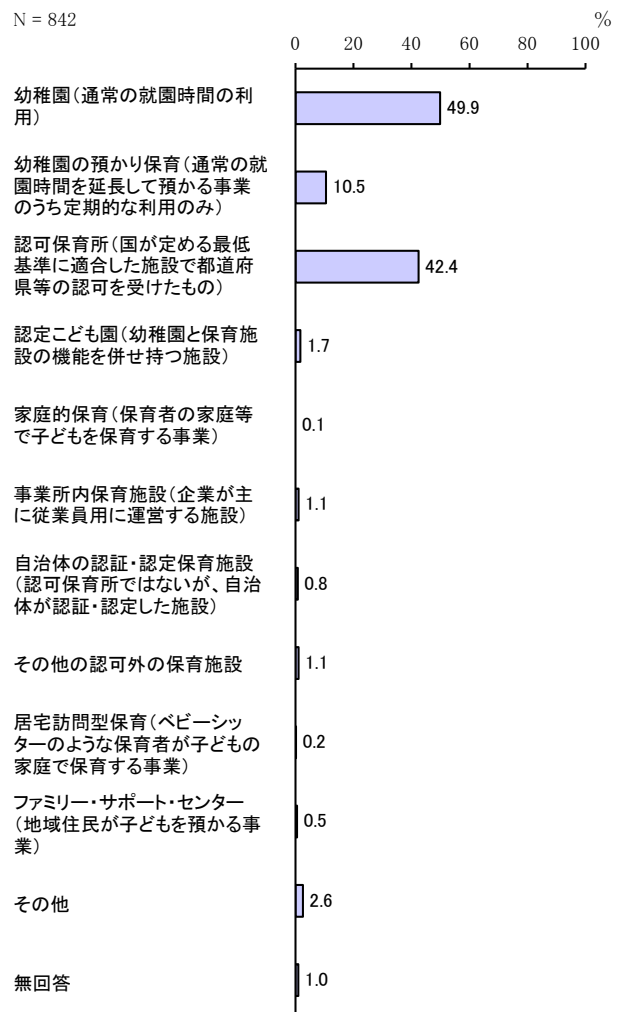
問 23 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が61.1%、「利用していない」の割合が38.9%となっています。



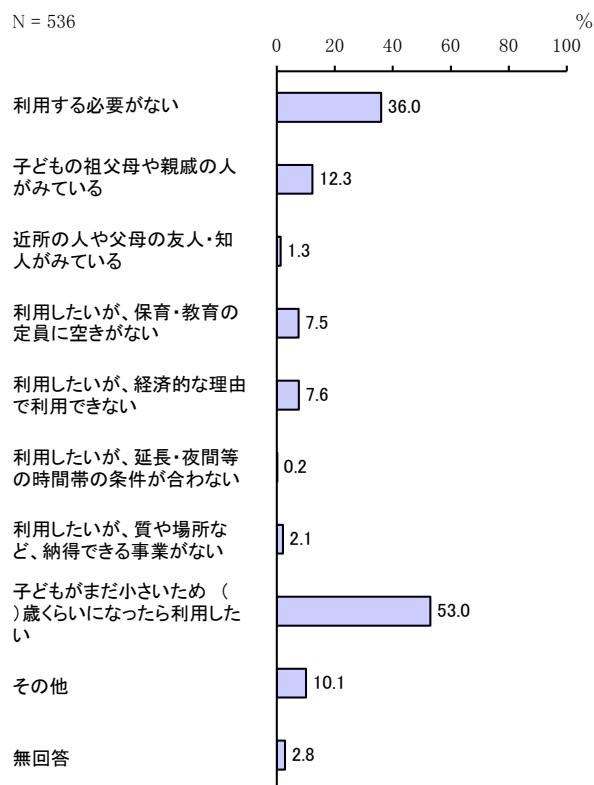
問 23-1 問 23-1～問 23-4は、問 23 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が49.9%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が42.4%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」の割合が10.5%となっています。



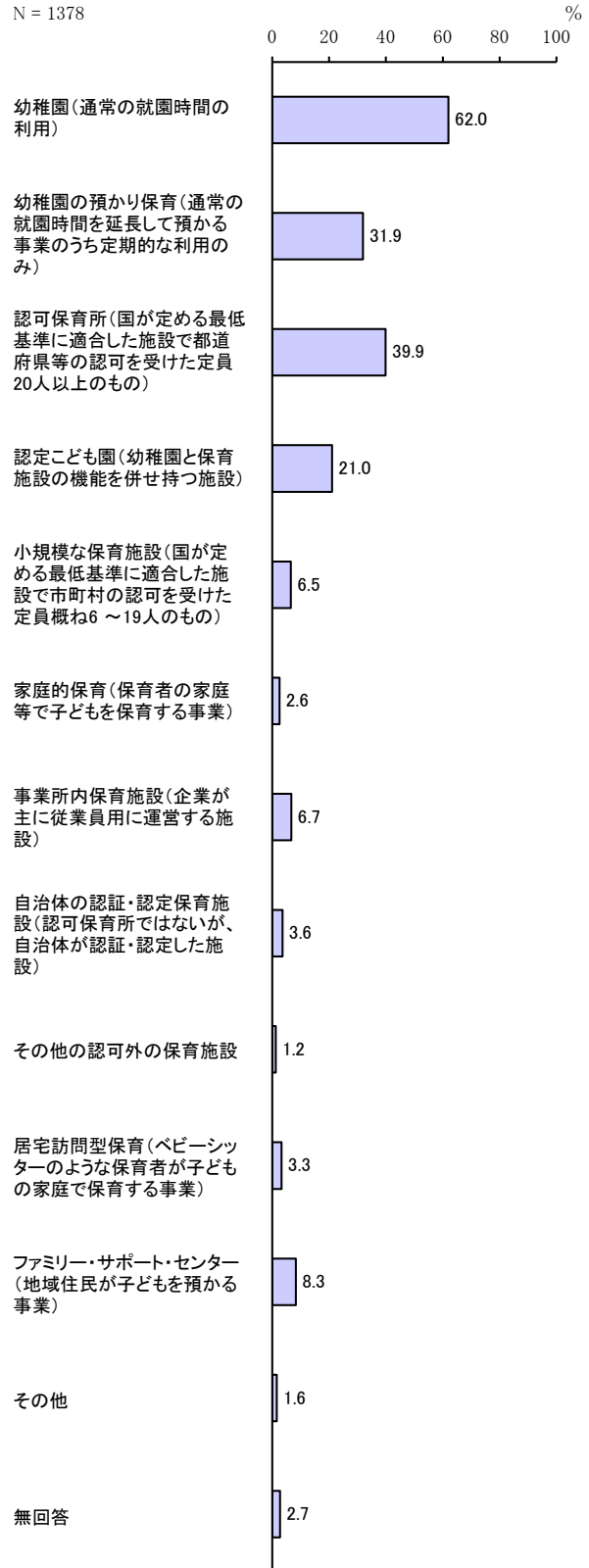
問 23-5 問 23 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用したい」の割合が53.0%と最も高く、次いで「利用する必要がない」の割合が36.0%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が12.3%となっています。



問 24 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

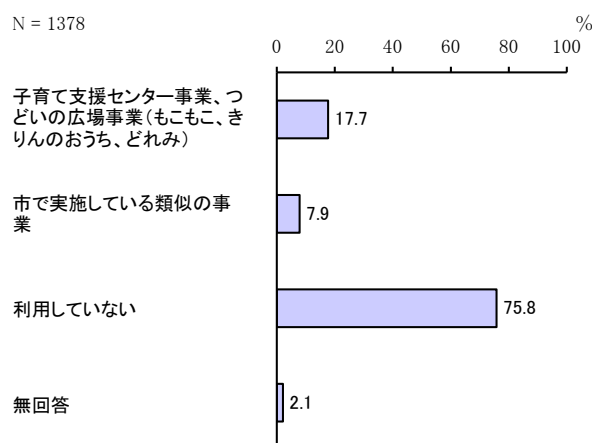
「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 39.9%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」の割合が 31.9%となっています。



2 地域子育て支援拠点事業について

問 25 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

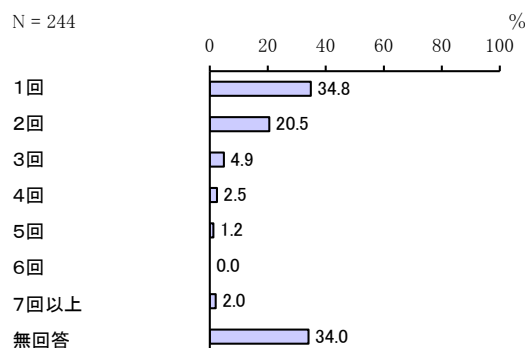
「利用していない」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「子育て支援センター事業、つどいの広場事業（もこもこ、きりんのうち、どれみ）」の割合が 17.7%となっています。



子育て支援センター事業、つどいの広場事業

1ヶ月当たり利用回数

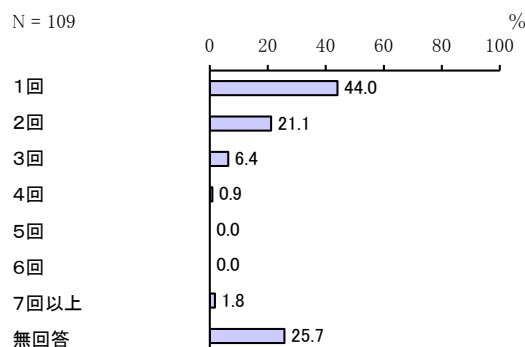
「1回」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が 20.5%となっています。



市で実施している類似の事業

1ヶ月当たり利用回数

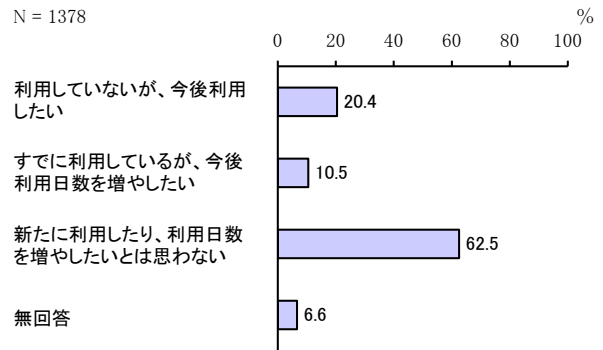
「1回」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が 21.1%となっています。



問 26 問 25 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 20.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が 10.5%となっています。

N = 1378

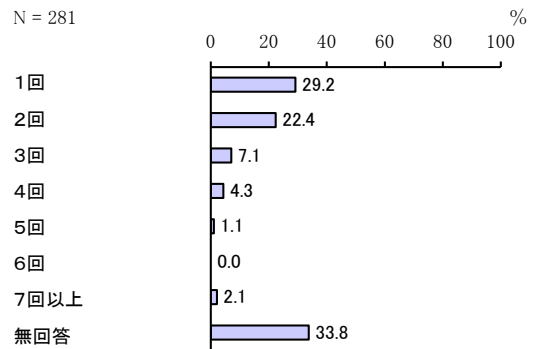


利用していないが、今後利用したい

1ヶ月当たり利用回数

「1回」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が 22.4%となっています。

N = 281

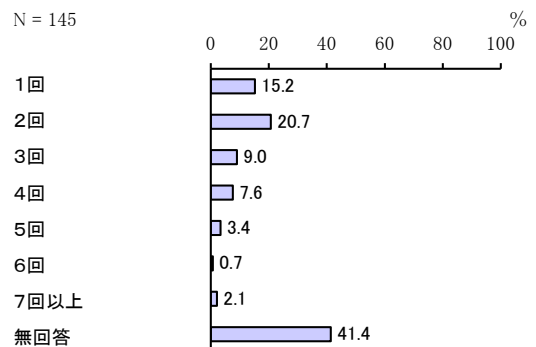


すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1ヶ月当たり増やしたい利用回数

「2回」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「1回」の割合が 15.2%となっています。

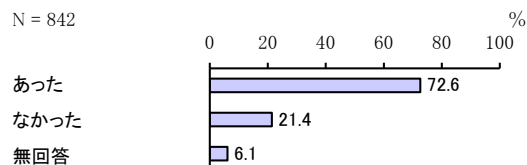
N = 145



3 病児保育事業について

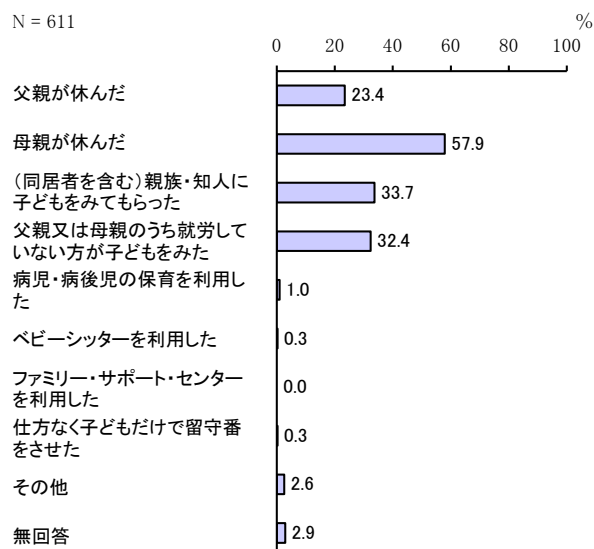
問 30 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 23 で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 31 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が72.6%、「なかった」の割合が21.4%となっています。



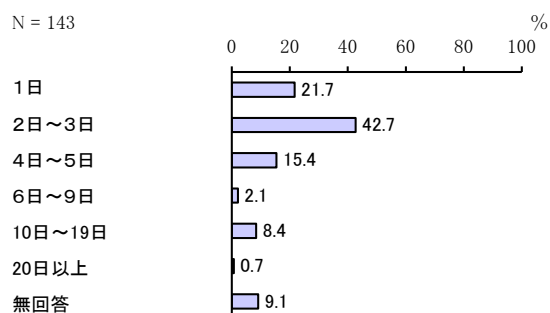
問 30-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

「母親が休んだ」の割合が57.9%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が33.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が32.4%となっています。



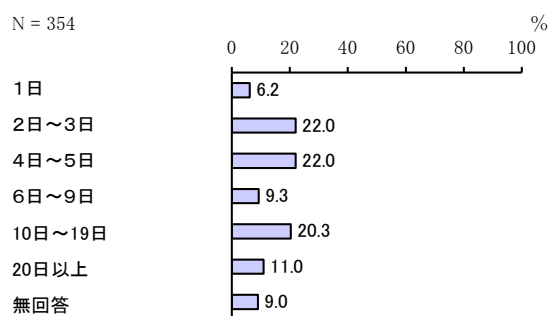
父親が休んだ

「2日～3日」の割合が42.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が21.7%、「4日～5日」の割合が15.4%となっています。



母親が休んだ

「2日～3日」、「4日～5日」の割合が22.0%と最も高く、次いで、「10日～19日」の割合が20.3%となっています。



病児・病後児の保育を利用した

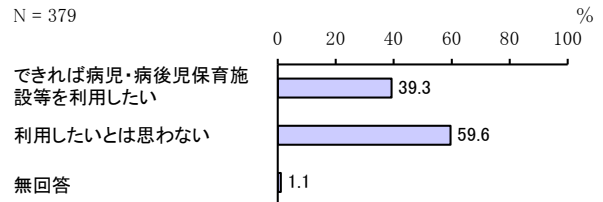
「4日～5日」、「10日～19日」が2件、「2日～3日」が1件となっています。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「2日～3日」が2件となっています。

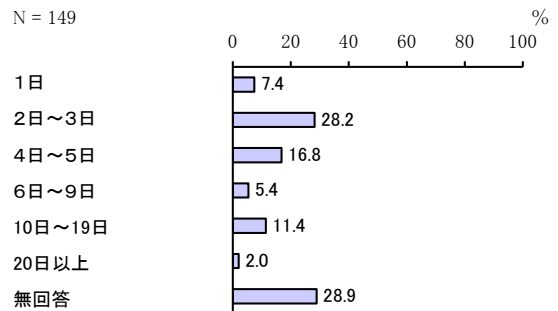
問 30-2 問 30-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「利用したいとは思わない」の割合が59.6%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が39.3%となっています。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「2日～3日」の割合が28.2%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が16.8%、「10日～19日」の割合が11.4%となっています。

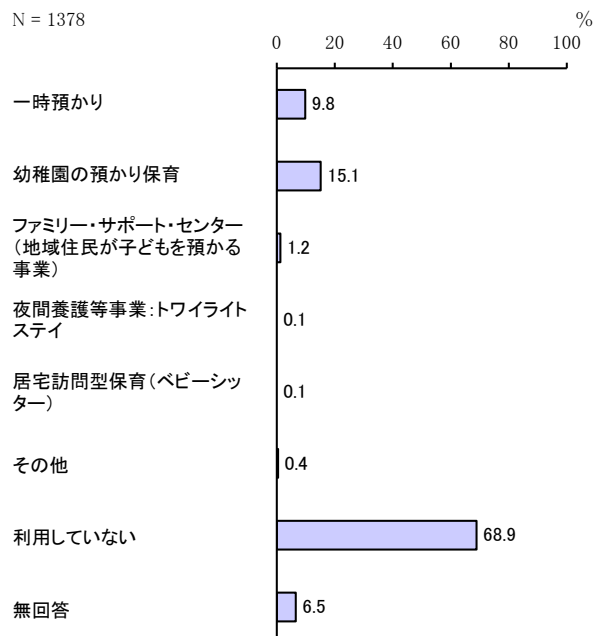


4 一時預かり事業について

問31 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番
号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

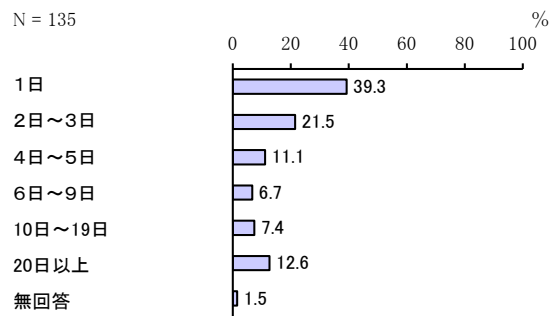
利用している事業

「利用していない」の割合が 68.9%と
最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」
の割合が 15.1%となっています。



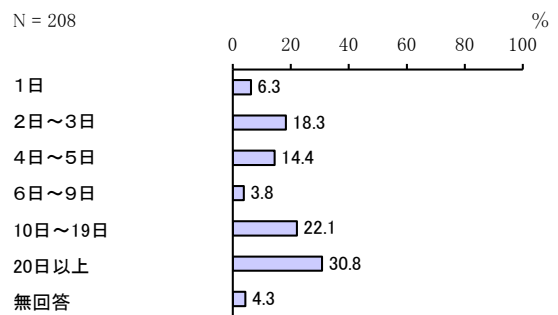
一時預かり

「1日」の割合が39.3%と最も高く、次いで「2日～3日」の割合が21.5%、「20日以上」の割合が12.6%となっています。



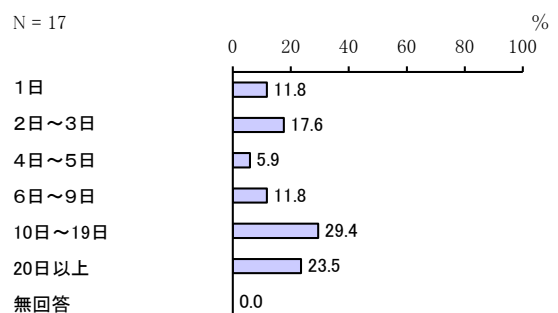
幼稚園の預かり保育

「20日以上」の割合が30.8%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が22.1%、「2日～3日」の割合が18.3%となっています。



ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）

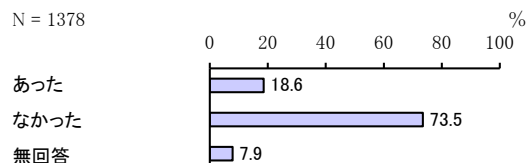
「10日～19日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が23.5%、「2日～3日」の割合が17.6%となっています。



5 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト）について

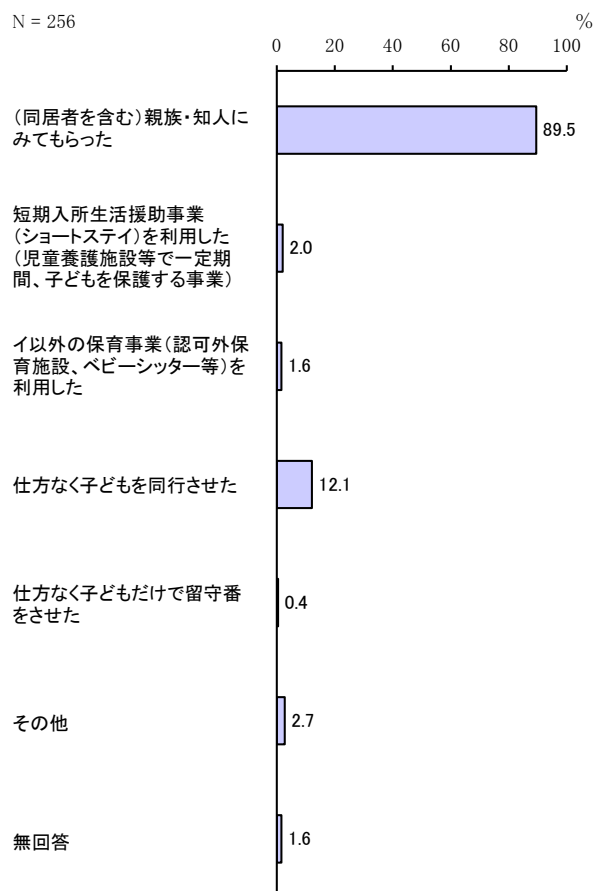
問 33 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「なかった」の割合が73.5%、「あった」の割合が18.6%となっています。



1年間の対処方法

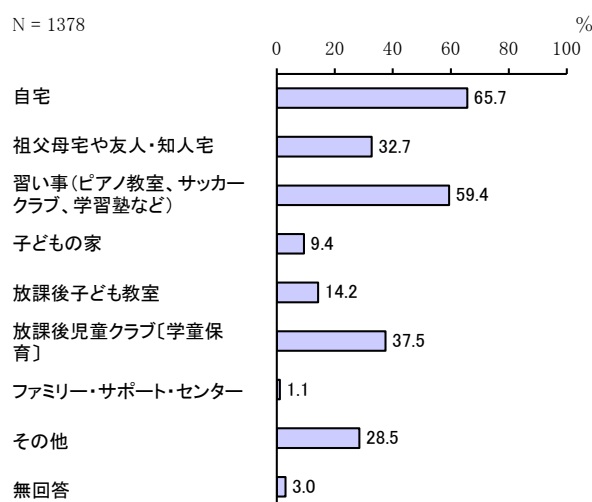
「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が89.5%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が12.1%となっています。



6 放課後児童健全育成事業・子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）について

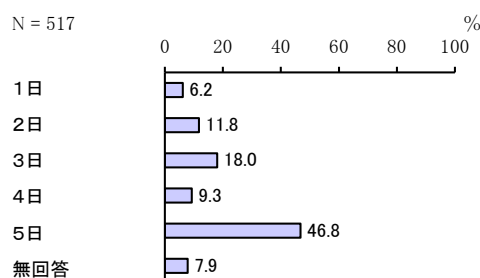
問 34 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が65.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が59.4%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が37.5%となっています。



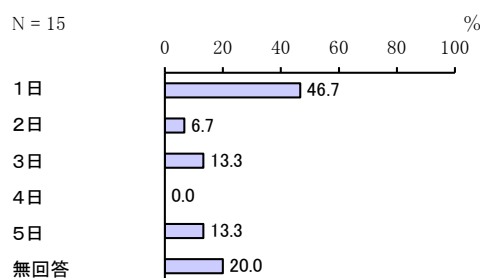
放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」の割合が46.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.0%、「2日」の割合が11.8%となっています。



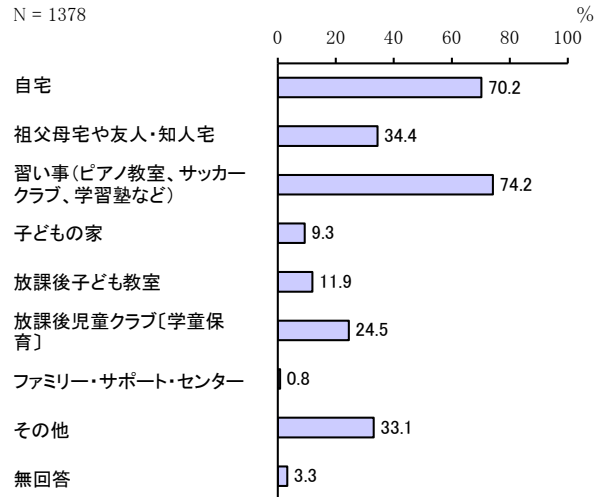
ファミリー・サポート・センター

「1日」の割合が46.7%と最も高く、次いで「3日」、「5日」の割合が13.3%となっています。



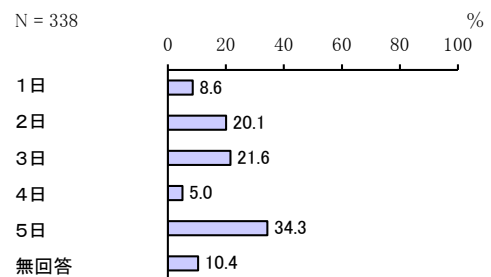
問 35 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの1週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください

「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が74.2%と最も高く、次いで「自宅」の割合が70.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が34.4%となっています。



放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」の割合が34.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が21.6%、「2日」の割合が20.1%となっています。



ファミリー・サポート・センター

「1日」、「2日」の割合が45.5%と最も高くなっています。

